

SOUND RECORDING TAPE RECORDER FOR BACKING UP LIVE MUSICAL PERFORMANCE OF OPERATOR HIMSELF

Patent Number: JP56007240

Publication date: 1981-01-24

Inventor(s): SUGIMOTO HITOMI

Applicant(s): SUGIMOTO HITOMI

Requested Patent: JP56007240

Application Number: JP19790081108 19790627

Priority Number(s):

IPC Classification: G11B5/78; G11B3/00; G11B3/68; G11B5/00

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PURPOSE:To make it possible that the operator plays a piano and so on to enjoy music while listening to the sound recording tape of the orchestra part of piano concertos, popular music, and so on.

CONSTITUTION:A record and a tape are used where the part which the operator himself wants to play is not recorded.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

⑯ 日本国特許庁 (JP) ⑰ 特許出願公開
⑲ 公開特許公報 (A) 昭56—7240

⑩ Int. Cl.³ 識別記号 厅内整理番号 ⑪ 公開 昭和56年(1981)1月24日
G 11 B 5/78 3/00 6835—5D
3/68 5/00 7247—5D
7247—5D
6161—5D
発明の数 1
審査請求 未請求

(全 1 頁)

④自分の生演奏をひきたてるための録音テープ
・レコード
⑤特 願 昭54—81108
⑥出 願 昭54(1979)6月27日
⑦発明者 杉本仁美
東京都世田谷区北沢3—9—5
⑧出願人 杉本仁美
東京都世田谷区北沢3—9—5

明細書

1. 発明の名称

自分の生演奏をひきたてるための録音テープ・レコード

分のピアノの生演奏を弾きながら楽しむ。

又ピアノや協奏曲・クラシックに限らずポピュラー音楽などにも利用出来る。

2. 特許請求の範囲

特許出願人 杉本仁美

従来のレコード・テープに自分の生演奏したいところを録音していないステレオ又モノラルのテープ・レコード

3. 発明の詳細な説明

この発明はピアノ協奏曲ポピュラーなどでピアノを弾く場合オーケストラだけの音楽を流すものである。

趣味などで自分がピアノ協奏曲でピアノだけを弾きたいと思っても後ろにオーケストラの音楽がないとつまらない。

そこで従来のレコードにはピアノの部分もオーケストラも全部録音されている。

しかしそのピアノの部分だけ録音しなければオーケストラだけの音楽が流れる。

そのオーケストラの録音のテープを流しながら自